

洲本市 第1回アンケート「ヤングケアラー」について

- ・実施期間：令和8年1月13日（火）～2月13日（金）
- ・回答者数：1,222人
- ・回答率：83.6%
- ・実施方法：GIGA端末を使ったインターネットによる調査
- ・担当課：洲本市子ども子育て課（こども家庭センター）

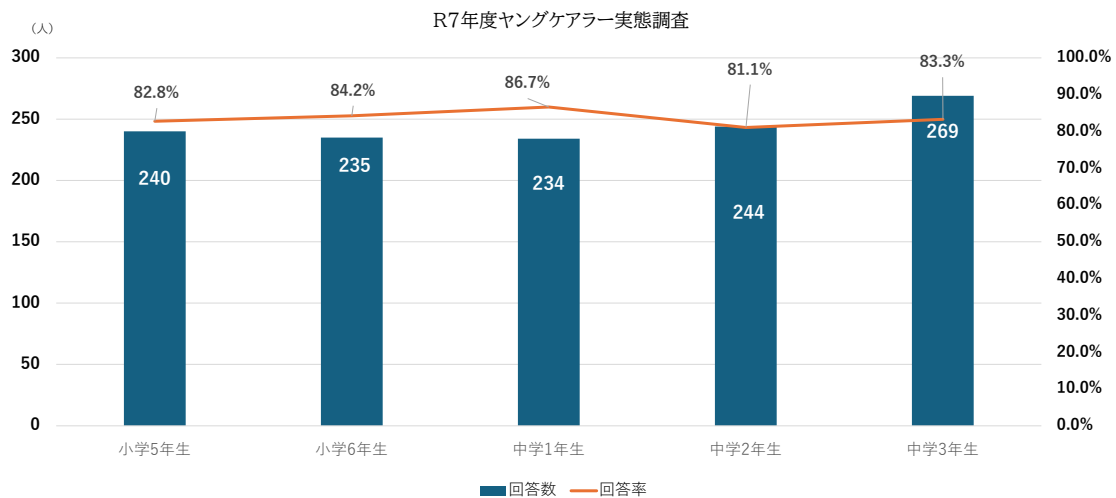
みなさんに聞いたこと

1. 今、あなたがお世話をしている人はいますか？
2. あなたが行っているお世話の内容について
3. 悩んだり、困っていることはありますか？
4. 悩みや困りごとについて話を聞いてくれたり、相談にのってくれる人はいますか？
5. 相談したことがないと答えたかたで、身近に相談できる人はいますか？
6. 「ヤングケアラー」という言葉は知っていましたか？
7. 「ヤングケアラー」という言葉はどこで知りましたか？ ほか



1

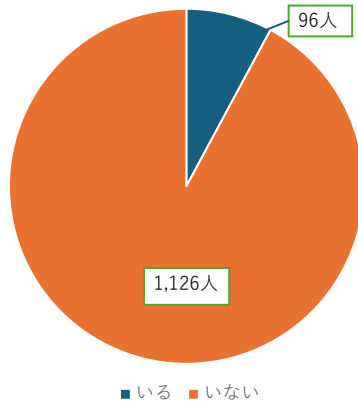
回答していただいたみなさんの年代



2

今、あなたがお世話をしている人はいますか？

家族の中にあなたが世話をしている人はいますか？



《担当課より》

家族の中にお世話をしている人がいるかについて、「いる」と答えた方は、96人でした。

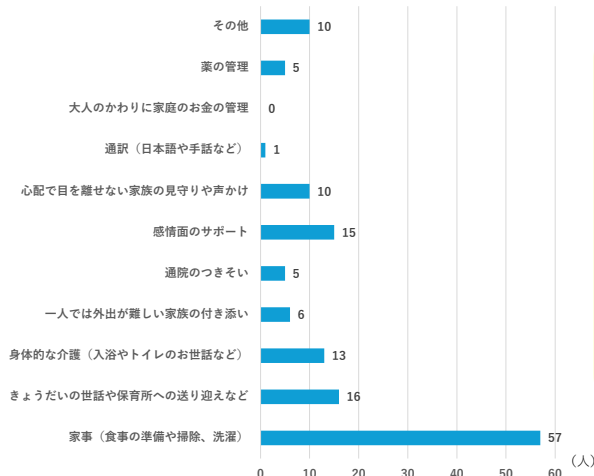
家族を手伝い、お世話することは悪いことではありません。ただ、自分の時間が持てなかったり、やりたいことができなくなるなどして、気づかないうちに負担を抱えてしまっている可能性もあります。

そういったことに気づききっかけを作ったり、周りの大人が見守り、気づくことができるように取り組んでいきたいと思います。

3

家族に行っているお世話の内容について

あなたが行っているお世話の内容について



《担当課より》

家族へのお世話の内容について、「家事」「きょうだいの世話や保育所への送り迎えなど」「感情面のサポート」「身体的な介護」「心配で目を離せない家族の見守りや声かけ」などが多いことがわかります。

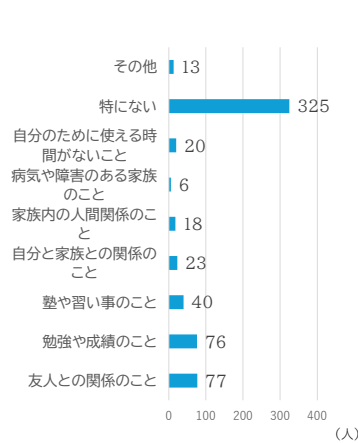
他にも、外出が難しい家族の付き添い、通院の付き添い、薬の管理、日本語や手話などでの通訳など、日々の生活で必要なお世話をしていることがわかります。



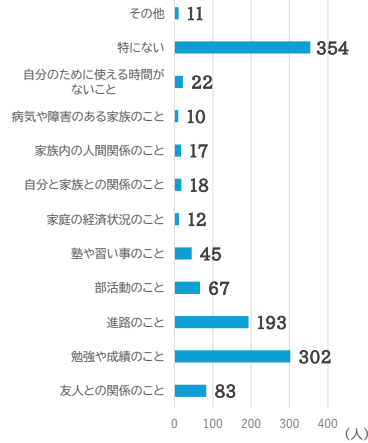
4

悩んだり、困っていることはありますか？

現在悩んだり困っていることはありますか？(小学生)



現在悩んだり困っていることはありますか？(中学生)



《担当課より》



現在悩んだり、困ったりしていることについて、「勉強や成績のこと」「進路のこと」「友人との関係のこと」などが多く、勉強や友人関係で悩みが多いことがわかります。

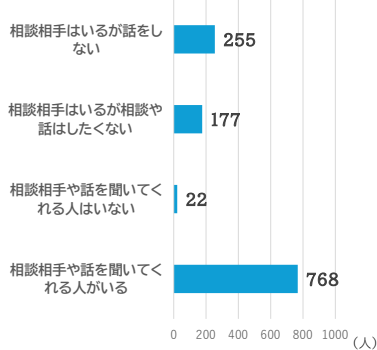
一方、家庭内のことで、「自分のために使える時間がないこと」「家族内の人間関係のこと」「病気や障害のある家族のこと」と答えた子もいます。

いろいろな悩み事や困りごとについて、みなさんが相談しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

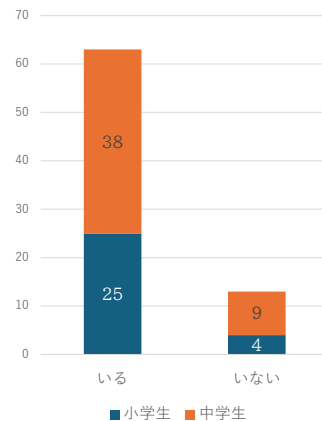
5

悩みや困りごとについて話を聞いてくれたり、相談にのってくれる人はいますか？

悩みや困りごとについて話を聞いてくれたり、相談にのってくれる人はいますか？



相談したことがないと答えた方で、身近に相談できる人はいますか？



《担当課より》

相談室

相談相手や話を聞いてくれる人について、「いる」と答えた人が多く、周りに信頼できる話し相手がいる人が多いことがわかります。

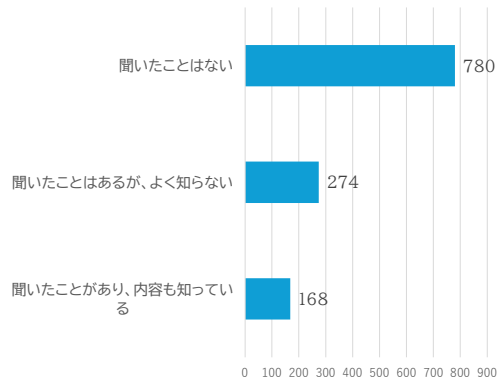
一方で、相談相手や話を聞いてくれる人は「いない」と答えた人もいたり、「相談や話はしたくない」という人もいました。

悩みや困りごとについて誰かに相談したいと思ったときに、普段近くにいる人に限らず、気持ちを話せるような相談窓口(相談先)があること、みなさんが分かりやすいようにお知らせができるようにしていきます。

6

「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか？

ヤングケアラーという言葉を知っていますか？



《担当課より》

「ヤングケアラー」という言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている」という人は168人いました。

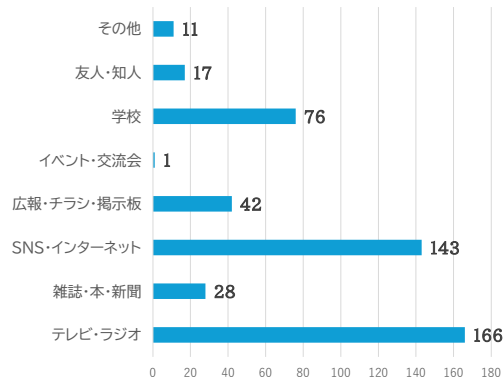
「聞いたことがない」「聞いたことはあるがよく知らない」という人が多くいることがわかります。

ヤングケアラー支援の体制整備を進めるためには、ヤングケアラーという言葉はもちろん、その意味や理解も深めていく必要があると考え、取り組みを進めていきます。

7

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか？

ヤングケアラーの言葉をどこで知りましたか？



《担当課より》

「テレビ・ラジオ」からヤングケアラーのことを学んだり、聞いたりしたことが多いということがわかります。

そのほかにも、「インターネット・SNS」「学校」が多く、また、「広報・チラシ・掲示板」「雑誌・本・新聞」などを通じて知る機会があることがわかりました。

これからも、みなさんに伝わりやすい方法を検討していきます。

8